

平成30年度 決算について

1. 資金収支計算書

資金収支計算書の内容は、当該会計年度中のすべての収入および支出の内容と資金の顛末を明らかにするものです。

収入には借入金収入等の負債となる収入なども含まれ、支出には経費のほか資産を形成する資本的支出および借入金返済支出等も含まれています。従って資金収支計算書には、当該期間中の資金取引がすべて網羅されております。

平成30年度の当年度収入合計の決算額は238億500万円で、これに前年度繰越支払資金の107億4,100万円を加えると、収入の部合計は345億4,600万円となりました。

一方、当年度支出合計の決算額は250億9,300万円で、これを収入の部から差し引くと翌年度繰越支払資金は94億5,300万円となり、これは予算において予測していた額に比して18億5,500万円の増加となりました。

2. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は当該会計年度中の事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにし、収支の均衡状態が保たれているか否かを計算、表示しているものです。

財政の運営状況を示す事業活動収支計算において、当年度収支差額は法人全体で21億4,100万円の支出超過となっています。

この結果、前年度繰越収支差額に当年度収支差額を加減いたしますと、翌年度に繰越される収支差額は36億2,900万円の支出超過となりました。

予算では翌年度繰越収支差額は55億6,100万円の支出超過を見込んでおりましたが、結果的には予測していた額に比して19億3,200万円ほど好転いたしました。

3. 貸借対照表

貸借対照表は決算日における資産、負債並びに純資産を明らかにし、学校法人の財政状態を表すものです。平成30年度末における学校法人國學院大學の資産総額は第3号基本金引当特定資産をはじめとする各種特定資産への積立等を行い、前年度に比して総資産は23億8,200万円増加し1,260億2,700万円となり、持続可能な経営を行うべく財政基盤の安定度を強化した結果となっております。負債総額は6億円増加し137億9,200万円となりました。

この結果として、純資産（資産総額から負債総額を控除した額）は1,122億3,500万円となり、前年度末に比べて17億8,200万円の増加となりました。

基本金は39億2,300万円増加して1,158億6,400万円となりました。内訳は、①第1号基本金（教育研究充実向上のために取得した固定資産）は982億500万円、②第2号基本金（将来取得する固定資産の取得にあてる資産）は19億円、③第3号基本金（奨学基金並びに経営基金として積み立てられている資産）は147億700万円、④第4号基本金（恒常的に保持すべき資金）は10億5,100万円となっております。

繰越収支差額は、累積で36億2,900万円の支出超過となりました。